

新潟県

# 公民館月報 1

平成8年1月号 通巻第515号



## 特集 男女共同参画社会づくりに向けて

- 視・点 女性館長は一年生
- ひろば 公民館事業に寄せて
- 実践記録 新井市の男女共同参画社会づくり
- サークル交流 名立合唱クラブ・両津市公民館料理講座
- 素顔拝見 安達仁氏（小千谷市）河野みゆき氏（塩沢町）

表紙 春駒

佐和田町公民館提供

# 公民館の施設管理や運営等

## 研究調査報告書まとまる

### 全公連の三年継続事業のその1

(注)全国公民館連合会では、平成6年度から3カ年計画による継続事業として取り組んでいる全国の現場公民館に焦点を当てた研究調査のうち、平成6年度分がまとまり、このほど「公民館運営に関する調査報告書(その1)」として発表した。

この調査報告書の取り上げているものは、『運営審議会、ならびに施設管理に関するもの』で、その内容は次のとおり。

- 1、公民館の設置
- 2、公民館運営審議会
- 3、公民館の管理

なお、この調査研究の対象となった公民館は、全国各都道府県から、県庁所在地の中央(又

〔表1〕1市町村当たり公民館設置数

この表は、全公連の「調査報告書」の結果に、本県の数値を各区分に応じて載せたものである。項目のうち、「全」は全公連の調査報告書の数値を、「新」は新潟県の数値を示す。なお、新潟県の数値は、新潟県教育委員会発行(平成7年10月)の「生涯学習・社会教育の現状」によった。

本県の実態と照合することによって、問題点が浮き彫りになっていることに気が付く。

項目	10万人以上の市	10万人未満の市	1万人以上の町村	1万人未満の町村	市全体	町村全体	計
本館	全	16.1	5.2	1.9	1.8	11.5	6.3
	新	14.0	6.3	2.3	1.3	7.4	2.7
分館	全	10.5	3.4	5.5	3.5	7.6	6.0
	新	8.0	8.3	2.5	1.7	8.3	3.1
計	全	26.6	8.6	7.4	5.3	19.1	12.3
	新	22.0	14.6	4.8	3.0	15.7	5.8



第44回全国公民館振興大会が去る12月1日、東京赤坂プリン

## 小林・南雲両氏が受賞

### 第44回全国公民館振興大会開催

はそれに相当する)公民館のほか市2館(人口10万未満)、町村(1万人以上、1万人未満)各2館の計7館に依頼して調査したもので、該当数329市町村。回収率95.4%で314市町村の回答を得ているものであるから、全国の趨勢として把握できる。

きる貴重な資料と言えよう。ちなみに、本県からは次の7市町村がこの調査に協力している。

- 新潟市中央公民館
- 柏崎市柏崎公民館
- 新発田市公民館
- 安田町中央公民館
- 大潟町公民館
- 牧村公民館
- 湯東村公民館

上の表1はその一例で、1について、本県の実態と照合して紹介したものである。なお、号を改めて要点を紹介する予定である。

### こんな調査項目も

#### 公民館の愛称の有無

公民館に愛称を冠した施設があるか否かについて尋ねたところ、「ある」とする市町村が7%であったという。

その愛称として付けられている名称には「市民センター」「文化センター」「コミュニティセンター」「ふれあいセンター」などのほか、「なごなひろば」「すこやか広場」「ふるさと会館」「オアシス館」「遊休館」「……プラザ」等きわめて多様なものがある、と記されている。

こともあって、求賓に参議院文教委員長小野清子氏と文部大臣(代理生涯学習局長)のただ二人という淋しさであった。

この大会の席上で、優良職員表彰(各都道府県から一名)並びに永年勤続職員表彰(一二四名)があり、全参加者から祝福と共に、その労をねぎらった。なお本県からは、次の二人が受賞した。

- 優良職員表彰受賞者  
十日町市公民館副館長  
小林 宏行 氏
- 永年勤続職員表彰受賞者  
十日町市公民館主査  
南雲 秀雄 氏

今年、全国町村会総会の開催日と連動しなかったせいか、例年に比して、参加者が三割かた少なかった。ちなみに、本県の参加者も二十七名で例年の半程度に過ぎなかった。また折から国会開会中という

### 公民館振興市町村長連盟

## 理事・代議員会終る

第44回全国公民館振興大会の終了後、会場を移して、公民館振興市町村長連盟の平成7年度理事・代議員会が開催された。

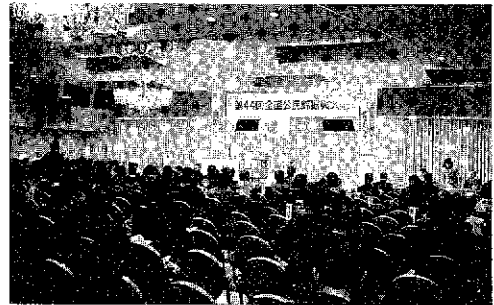
1、平成6年度事業報告及び収支決算報告  
三氏である。

2、平成8年度事業計画及び収支予算案  
岡山県笠岡市長 藤岡重弘氏  
兵庫県加西市長 兵庫耕之助氏

3、主要案件であった役員の変更  
副会長 松尾耕之助氏

選任・留任の正副会長は次の通り可決承認。

副会長 藤岡重弘氏  
副会長 松尾耕之助氏



長崎県国見町長

## 視点

その昔、放送局のアナウンサーをしていた一人の女性が結婚をして主婦となり、子どもが生まれて母となりフリーアナウンサーをしていた所、今年の四月公民館長の辞令をいた

## 女性館長は一年生

佐々木 志津子

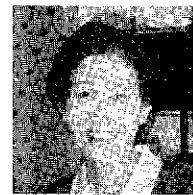
なくになりました。今まで利用するだけで知識がなかった公民館についてこれまでの公民館の歩みや年度を逆上ったの公運審議事録を読んで、今、公民館や地

域が抱えている課題は何か、非常勤館長の立場は等々、考えさせられる事が多くあります。家事、育児をこなしながら今年度の事業を進めたりと、それは

それは忙しい毎日でした。公民館での仕事は全てが初めての体験。主事や主事補、周りの方々に助けられながら館長職十ヶ月が過ぎようとしています。若輩

## 公民館事業に寄せて

小熊 春枝



各地の公民館で郷土の歴史に焦点を当てた講座が開かれています

が、私達の公民館でも先人が遺してくれた偉大な業績や文化遺産、遺跡を学ぼうと、平成四年に「大正浪漫講座」が開講されました。以来四年が経過しましたが、講師の熱情こめた指導のもとに、大正時代を中心とした学習から始まった講座は、更に古い時代、また昭和の初期戦前と広がりました。

## ひろば

柏崎では、新潟産業大学

に続いて新潟工科大学が開校、四年制大学を二つ持つ学園都市としての歩みを見せております。豊かな自然環境に恵まれた柏崎で学ぶこれらの若者達に楽しく実りある勉学の時代を過ごしてもらいたため、それにふさわしい町づくりについて考えることも公民館活動として大切なことではないかと思っております。先頃新潟工科大学の公開講座「川端康成の文学」が開かれましたが内容の濃いこの講座への男性の受講者は僅かでした。公民館事業でも男性の参加が少ないように思っています。男性の積極的参加が公民館活動活性化の一つの鍵ではないでしょうか。

(柏崎市中央地区公民館 運営審議会委員)

見附市今町公民館館長

館長職十ヶ月が過ぎようとしています。若輩

一つ経験を重ねていき

な事を学びながら一つ

の人々と出会い、色々

の中にあって、たくさん

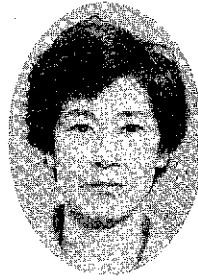
出会う場所。私も、その

に考えています。公民

館は地域の人と人との

# づくりに向けて に関する事業について～

## 生涯学習推進課 主事 本望 雅子



本望 氏

### 執筆者紹介

本望雅子氏は、県教育庁生涯学習推進課で、婦人教育・家庭教育・国際理解等を担当する社会教育主事。  
男女共同参画型社会の到来に向けて、生涯学習推進の立場から、本県の啓発活動に活躍されている方である。

### 一、はじめに

今年(平成8年)は戦後五十年です。戦後強くなったものは「女」と「靴下」と言われ、女性の地位が向上してきたと言われています。また、昨秋には、世界女性会議が北京で、日本女性会議が新潟市で開かれ、女性に関する情報が賑やかです。  
この機会に、担当の係として「男女共同参画社会の実現」という考えが出てきたいきさつと生涯学習推進課の女性に関する事業について紹介します。

### 二、女性に関わる国内外の動き

1 20年前からの主張  
表1のように、女性の地位向上に関する世界的規模の会議は、一九七五年「国際婦人年」に開かれました。「平等・開発・平和」を目標として、メキシコで開催されて以来、今年で四回目です。会議で決定したことが、世界の各国でどう実行されているのか検討されています。日本も、国内での対応を迫られることになりました。  
2 まずは法の下の男女平等  
国連の動きに呼応して、政府

〈表1〉女性の地位向上に関する国・国連の動き

年	国の動き	国連の動き
1945	婦人の参政権が認められる	
46	日本国憲法公布(男女の法の基の平等)	
47	教育基本法施行	第1回国連婦人の地位委員会開催
67		婦人に対する差別撤廃宣言
75	婦人問題企画推進本部設置	国際婦人年(平等・開発・平和) 国際婦人年世界会議(メキシコ)
77	「国内行動計画」策定	
79		女子差別撤廃条約採択 「国際婦人の10年」中間年世界会議(デンマーク)
85	男女雇用機会均等法公布 女子差別撤廃条約批准	「国際婦人の10年」ナイロビ世界会議(ケニア)
87	「西暦2000年に向けての 新国内行動計画」策定	
92	育児休業法施行	
94	男女共同参画推進本部設置	
95		第4回世界女性会議(中国)

〈総理府男女共同参画室資料より〉

は「婦人問題企画推進本部」を設置し、国内行動計画を策定し、「女子差別撤廃条約」や「男女雇用機会均等法」を成立させました。その後「育児休業法」「介護休業法」等の法律を制定させています。  
法の整備と合わせて10年前の第三回世界女性会議で、女性の「参画」が合い言葉となりました。  
「西暦二千年に向けての新国内行動計画」が策定され、一九九一年には、男女共同参画型社会の形成を目指して、女性に関する施策を具体的に進めることになったのです。  
3 総理府男女共同参画室の誕生と地方・民間団体との連携  
ここ20年間に女性に関する施策が、国から県・市町村へも浸透するように、組織の整備が始まりました。  
一九九四年には、総理府に男女共同参画室ができ、担当大臣が決まりました。現在の担当大臣は野坂官房長官です。野坂官房長官が、北京の世界女性会議に出席し、次の三点を日本政府代表として主張してきました。

- ① 女性のエンパワーメント(力を強くする)
  - ② 女性の権利の尊重
  - ③ 男女、政府と非政府(NGO)、国境を超えたパートナーシップ
- 日本はこれらを実行して行くことになるでしょう。  
さらに、各県、市町村には必ず女性に関する担当係を置くことになっています。ちなみに、本県では、民生部女性児童課、女性政策室が女性の総合的に行政を推進しています。そして、生涯学習推進課では、女性政策室と連動して、女性の生涯学習を進めています。  
勿論、市町村にも女性政策担当課や係を置き、一層力を注ぐことになっています。  
このように、行政面での整備がなされて来たということは、世界的な大きな流れだけではない、民間団体の息の長い地道な活動や、その連絡会が設立され、力強く動いているからです。NGO(非政府組織)の活動は、今や世界各国とつながりを持つようになりました。日本国内での活動を、北京での世界女性会議へ広げて交流し、行動している人が、ここ新潟県でも増えています。

### 三、実質的な男女平等は

日本はまだ男女平等になっていないと評する人がいます。教育、健康面では高い水準になってきました。しかし、政策方針の決定への参画、職場にお

# 男女共同参画社会 ～生涯学習推進課の女性

## 新潟県教育庁 社会教育

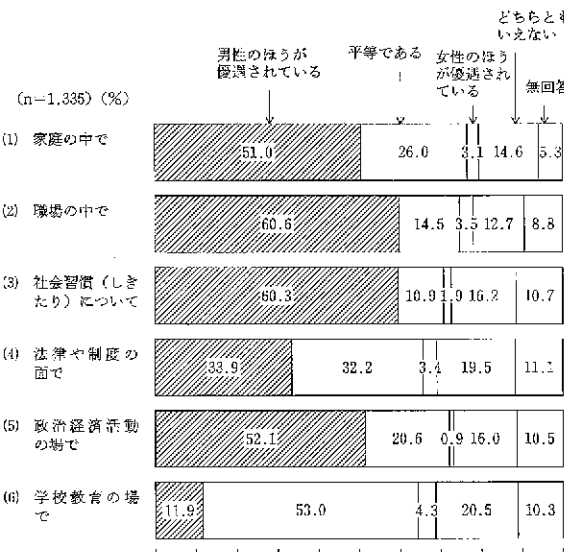
ける能力発揮、家庭や地域における男女共同参画等は世界的に見て遅れています。

本県の調査によりますと、表IIのように、さまざまな分野で「男性の方が優遇されている」と感じている人が多いのです。「男は外で、女は内で」「男は男らしく、女は女らしく」等で男女を固定する見方や考え方は今も強く残っています。

「頭の中では男女平等を理解している。けれども、世間のしきたりに従わないと仲間外れになる」「仕事上、男女共同参画はよく分かる。けれど、行動面ではまだまだ。」という人もい

表II 男女の意識と生活実態調査(平成6年12月県教委調べ)

今の日本では、次のような面で男女の地位が平等になっていると思いますか。それともそうは思いませんか。1つずつお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)



### 四、生涯学習推進課における女性に関する事業

#### 1 女性リーダー研修

世界の女性に関わる運動や主張と呼応して、社会教育課の時代から、女性のリーダー研修を実施して昭和49年以来20数年になります。この研修に参加した人の中から「国内交流」事業で、県外へ研修に派遣され、視野を広げる人もいます。また、国内研修に参加したことをきっかけに、継続した研修を重ねて、女

性リーダー研修を支援してくれる団体も出てきました。今年の世界女性会議、日本女性会議をはじめ、様々な分野で活躍している方々の中に、この

女性リーダー研修に参加した方々が、大勢居られました。20数年継続してきた事業の意義を実感しています。

#### 2 女性の生涯学習促進総合事業

女性の生涯学習を促進していくために次の二つの事業を行なっています。  
(1) ウーマンカレッジ

平成元年より表IIIの大学の協力を得て、女性学等の専門的学習を希望する人たちのために学習機会を提供し、合わせて、生涯学習リーダーの養成を図っています。

表III

- 県立新潟女子短期大学(平成元年から3年間)
- 長岡短期大学(平成3年から3年間)
- 上越教育大学(平成4年から3年間)
- 敬和学園大学(平成6年から現在も)
- 相崎産業大学(平成7年から)

#### (2) 男女共同参画社会づくり、モデル市町村事業

平成6年から2年間、新井市で、市民と行政が一体となった実行委員会を組織して活動を展開しています。

#### 3 女性の社会参加特別支援事業

女性の能力を生かして、各種の社会参加・参画を促すにはど

- ① 新潟県女性会議(91'92)
- ② 新潟県婦人国内研修者の会(91'92)
- ③ 住みよい村上市をつくる女性たちの会(93)
- ④ いきいきARRAI女性ネットワーク(92'93)
- ⑤ ウイメンズスタディーズ・ネットワーキング実行委員会(94'95)

### 五、おわりに

生涯学習は、いつでも、どこでも、だれとでもと言われていきます。男性のみ、女性のみと区別して学習するのが究極の目的ではありません。女性問題は男性問題でもありません。女性のみ、男性のみでは解決できない場合が多いのです。男女両方が共に解決していく学習を続けたいものです。

生涯学習推進課では、生涯学習指導者、公民館管理者等の研修で、「男女共同参画社会」の実現に向けての内容を取り上げ、この考えの普及を図っています。どうぞ一層のご理解ご協力をお願いします。

# 実践記録シリーズ (3)

## 新井市の「男女共同参画社会」

### 実現への取り組み

新井市公民館

住民の考え方の多様化、活動範囲の広域化、他地域からの人口の流入など、時代の変遷により、地域婦人会の組織及び活動について諸問題が顕在化して来ている市町村が多いと考えられる。また、新しい視点で「男女共同参画社会」に向けた各方面での活動も活発化している。

公民館・社会教育活動として、それらの課題に対し、いかに取り組んだらよいか、悩んでいる女性施策担当者も多いのではないかと。「男女共同参画社会」に向けた取り組みとしては、市長部局で実施するところと、教育委員会部局で実施するところに大きく分かれるようである。今回は、公民館・社会教育施策として、「男女共同参画社会」及び、女性活動の活性化に取り組んでいる新井市の事例を紹介したい。

#### 取り組み経過

以前から婦人会を中心とした女性の学習活動が活発であり、婦人会を中心に昭和六十一年度から平成元年度まで「女性フォーラム」が開催されていた。その後、世界や国における女性の地位向上を目指した活動や、時代の変化を考慮するとも、平成二年度に策定された「新井市生涯学習基本構想」推進の一環として、女性の社会参加の促進を図るために、「新しい女性

の在り方研究会」が行政の呼びかけで発足し、調査研究を実施した。(平成二から三年度)

その提言を受け、平成四年度に「あらい女性プラン策定懇話会」を設置し、「あらい女性プラン」を策定した。(平成五年度から十二年度を目標年次とする八カ年の計画)

そして、女性プランの推進の拠点施設として「ネットワークルームARRAI」を新井市コミュニティセンター内に開設し、諸活動を実施している。



#### 市民活動との連携

女性団体のネットワーク化を図りながら、「男女共同参画社会」の実現を目指して、「いきいきARRAI女性ネットワーク」が平成四年度に組織された。平成四・五年度の二か年間、文部省の「女性の社会参加支援特別推進事業」の委嘱を受け事業を

展開した。交流の機会として、華やかなパーティを開催し、一躍市民の注目を集めた。また、女性の場合、歌や踊りなどの趣味的な学習活動が多かった中で、ボランティアについての学習会やアンケート、女性の社会参加に関するフェスティバルを自ら企画運営するなど、女性の視点からの「まちづくり」に取り組んだ。

また、若い女性の地域活動離れが進む中で、保育園へ行って、いない子どもを持つ母親(祖母を含む)を対象に、講座「子育てレストラン」を開講し、若い女性層のネットワーク化や市民活動への参加のきっかけ作りに努めた。

このように、転入者や三十歳代から四十歳代の女性を中心とした新感覚の市民活動は、「新井の若い女性も、なかなかやるもんだわい」という市民の意識改革を促した。もちろん、既存の婦人会も、その活動に触発されたの言うまでもない。

そして、平成六・七年度には、「男女共同参画型社会づくりモデル市町村事業」の補助を受け、ネットワークルームARRAI登録団体を中心とした諸事業を展開しながら、女性団体のネットワーク化、学習機会の提供、人材の育成に努めている。

#### 公民館の対応と今後の課題

「いきいきARRAI女性ネットワーク」の活動については、公民館としての指導は最小限度に止め、彼女たちの主体性、自主性を尊重するように心掛け、委嘱事業終了後は、行政の指導がなくとも活動できるように自立支援を行った。また、婦人会についても、時代の変化に対応した組織体制や事業内容を検討していただいた。公民館職員は、摩擦や失敗を恐れず、自信を持って地域に飛び込み、団体と接する熱意と勇気が必要である。

現在は、単位婦人会組織が消滅していたり、活動が停滞している郊外の地域女性を対象に、自らが企画運営し、男女共同参画社会を初めとした諸課題について、楽しく学習したり活動するための事業に取り組んでいる。このように、市民の「男女共同参画社会」についての一応の理解は進んだが、女性学や女性の人権という分野へのアレルギー反応が多いことを思い、男性の理解をいかにして得ていくかが、真の「男性共同参画社会」の実現へ向けての今後の課題となっている。

# サークル交流

## 響き合う心 いつまでも

### 名立合唱クラブ

私達合唱クラブは、一九九〇年、公民館「コーラス講座」がきっかけで誕生しました。現在は独立して、名立合唱クラブとして活動しています。

メンバーは女性十七名、殆んどが仕事をもっての張り切りママさんです。多忙な生活を工夫して、月二回の練習には真面目に出席しています。

「歌が好き・歌うことが楽しい」という仲間ですから練習の半時間半は「青春の真っ只中」と

いった感じですが、心一つにしてもてる力を最大限に出し合っ

て練習に励みます。今年、基礎力をつけるために「コンコーネ」を使っ

て練習に取り組みました。徐々に力もつき、短時間で合唱が出来るようになり

ました。毎年一回、町芸能祭で発表しています。その影響があつてかどうかわかりませんが、ある町内の新年宴会で童謡を五・六曲歌うという話を聞いています。米年度はお互いに声をかけ合つて歌う輪を広げ地域に根ざした合唱クラブにしていきたいと思つていま

す。

(名立合唱クラブ 小池 喜久 記)

### 食の和は公民館から

#### 両津市公民館料理講座

公民館の講座として料理講座が発足したのは、昭和49年の頃で20数年の歴史があり、他の講座と比べても古い部類に入ります。

講座生は7人と少ないのですが、少数精鋭で出席率は一〇〇%に近く、月一回のペースでは飽き足らず、最近では月2回



に変更したくらいです。本当に料理を作ることが好きな人ばかり集まっているので、その意欲が伝わった良い例だと思いま

す。また、講師の先生もホテルの料理長と本格的で、毎回講座生のためにレシピを作成したり、材料を講座生と一緒に買い付けに行ったりと至れり尽くせりの講座であります(材料の見立ては講座生に喜ばれています)。

そして、公民館文化祭では食堂の賄いの中心的役割を担い、昨年までは料理試食コーナーを設けて日頃の成果を発表していました。でも、日頃の成果は各家庭で毎日しているのでもいいですよ?

(両津市公民館 正治 敏 記)

小千谷市社会教育課・公民館 主事 安達 仁 氏

彼は「四尺玉花火」で有名な、小千谷市片貝で生まれた。

新潟大学&大学院で農業工学を専攻し、将来はその道のプロになるはずが、なぜか行政マンに。四年間の農林課勤務を経て、今年度から社会教育課・公民館に配属となった。

主要事業の一つである夏季セ

ミナーや各種講座、市内35分館のとりまとめなどを担



## 素顔 拝見

塩沢町公民館 主事 河野みゆき 氏

美味しい塩沢の「コシヒカリ」をたら腹食べ、すくすくと育つて二十一年。今年の四月に公民館に新採用になった「みゆき」さん。

学芸員の資格を持ち、明る性格の彼女は、穏やかな白い手とかぶりつきたくなるような愛らしい唇が自慢とか。……

仕事は文化財、図書室、成人教室を受け持ち、電話や来客の応待にもテキパキとこなし、まさにシャキシャキの現代娘です。

当、多忙な毎日を送っている。

スポーツは、中学校で野球、高校では陸上(円盤投)、現在はテニスと、何でもOK。まあ、見方を変えれば、長続きしないタイプとも言える(?)。

仕事の水があつているせいか、立派になる一方の体格(農業で培った足腰。背筋力は200kg強)とニヤニヤした赤い顔を武器に、彼は今日も行く。

あつ、大事なことを忘れていた。彼は、春3月に何か良いことがあるらしい。

(小千谷市社会教育課兼公民館 社会教育課主事 佐藤正行 記)

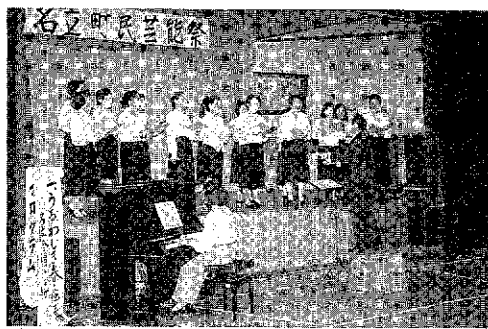


今は体育

関係の仕事も手伝い、二足の草鞋で冬のスキー大会に向けて、スマートな体に強力なムチを打ちながら、気力で日夜、頑張っている。

ちなみに、「みゆき」さんは只今、すてきな男性を募集中とか。……見かけはシャキでも、こちらの男には負けない強靱なパワーと繊細な一面を兼ね備えた、愛らしいすばらしい娘さん。

(塩沢町公民館 平賀 健彦 記)





### 職員研修探訪

## 人を愛し、仕事を愛する職員に

### 新潟市公民館職員研修会

去る十二月十二日(火)新潟市の公民館職員による研修会が同市中央公民館を会場に開催されていたので研修の実際を味わってき

市内十公民館から館長、職員四十名が参加し、研修主題「都市公民館職員の専門性と市民に

求められている職員の在り方」について、終日熱心な研究討議がなされた。研修の内容そのものは、左表のとおり特に奇異なテーマを取り上げたものでなく、むしろ公民館職員として「基本に忠実である」とする地道なものであったことが、逆に新鮮味のある研修内容として好感の持てるものであった。

タイム	内容	担当 講師・発表者
10:00~10:10	開会挨拶、オリエンテーション	中央公民館長、研修委員長
10:10~12:00	都市型公民館職員の専門性と市民に求められている職員の在り方	講師 県公連事務局長 上村捨二郎
12:00~13:00	昼食休憩	
13:00~14:00	研修報告 ①学習の評価方法 ②女性学講座に参加して ③青少年指導者研修	小川 昇(坂井輪) 渡邊 直美(鳥屋野) 小林 久子(中央公)
14:00~17:00	パネル対談 「公民館職員の専門性徹底研究」 ①館長部会 ②主任部会 ③職員部会-A ④職員部会-B	司会 江部 忍(鳥屋野) 伊藤 高(北) 南 鉄臣(西) 伊藤 和子(中央) 小林 久子(中央)
17:00	開会挨拶	研修委員

この中で、研究報告として、全国レベルの研究會に参加した三氏の感動の体験発表が説得力を持って、参加者の関心をそそっていた。小川昇氏(坂井輪地区)による「学習評価法について」は、ベテラン実践家らしい落ち着いた中で、ツボを心得た評価法の実際と問題点を分かり易く説いていた。続いて、渡邊直美氏(鳥屋野地区)の「女性学講座に参加して」、小林久子氏(中央公)の「青少年指導者研修」に参加した

若い二人の女性パワー溢れる発表がなされた。二人とも公民館歴一年半とは思われない落ち着きと、鋭い感性による受講内容の発表と、受講後の自信ある事業のプログラマーぶりに、或いはプロデューサーぶりに敬意を表するばかりであった。

総じて、同じ問題で悩み苦しんでいる仲間が、問題解決に向

### 恵贈資料紹介

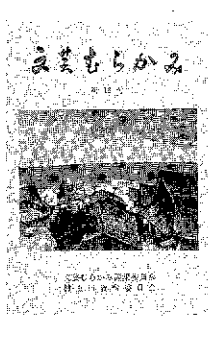
#### 文芸むらかみ第16号

#### 文芸むらかみ編集委員会

#### 村上市教育委員会

巻頭言によれば「中高年層を中心に文芸活動が活発にすすめられ着実な歩みを続けていることが、若い方の刺激となつて、本誌にも少しずつであります。二・三十代の方や高校生の投稿が見られるようになったのが喜ばしい」とあったが、かつ目すべきことである。

A5判、二六八頁、投稿者数二二四人の多きに及ぶ力作。



#### 文芸さんぽく第11号

#### 山北町教育委員会刊

A5判、二四〇頁の大冊で、随筆一部二部、短歌、俳句、川柳、詩、小品、小説、評論と多彩なジャンルのものが掲載され



### 表紙解説

#### 春 駒

新春の門付け芸で、正月から三月にかけて、各家々の門口に新春を寿いで回つたものであるが、近年は観光の郷土芸能になった。

佐和田町公民館

ている。応募作品六七三篇が八一名と多きにのぼり、年々充実している「文芸さんぽく」の編集に敬意を表する。

### あとがき

◆新年おめでとうございます。今年、ますます男女共同参画型社会実現に向けての叫びが高まるものと思ひ、本紙では新年を期して大きく取り上げました。そのため随所に女性に登場願いました。

特に、特集と実践記録では真正面から取り組んでもらいました。しかし、この問題は、本県ではまだまだ理念の段階、というよりは入口に立ったところ。今後の実践が期待されます。◆十年ぶりで表紙のイメージを変えました。レイアウト、ロゴなどの感想をお寄せください。(上村記)

発行所 新潟県公民館連合会  
〒951  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025)224-6073】  
発行人 会長 細川 仁  
編集人 事務局長 上村 捨二郎  
【定価1部150円 年共1,800円】